

水彩画合作 発想の宝庫 日本画家と金沢の障害者施設



施設利用者が描いた絵に、赤富士を描き上げる原宏之さん(左)＝金沢市土清水の「パッチワーク」で

日本画家の原宏之さん(五〇)＝埼玉県＝と金沢市土清水の障害者施設「パッチワーク」の利用者らが十七日、協力して水彩画を完成させた。水彩画は、十八日

から二十日まで金沢別院(同市安江町)で開かれるチャリティー展示会で展示される。

施設の活動を知ってもらおうと「パッチワーク」が企画したチャリティー展示会「現代国際巨匠絵画展」の活動の一環として実施。

事前に施設を利用する十二人がアンパンマンや自宅で飼っているネコなど、職員の手を借りずに思い思いに描き込んだ画用紙に、原さんが水彩絵の具で「赤富士」を描き上げた。原さんは「驚くような発想や色

使いの絵もあって、楽しい時間で刺激をもらった」と振り返った。

展示会には、ピカソやシヤガールなどの国内外の巨匠作家の版画作品のほか、原さんが描いた福島県や山梨県の風景画の原画など計百二十点が展示される。施設の活動を紹介するパネル八枚も並ぶ。入場は無料。パッチワークの能川晃一施設長は「素晴らしい絵がたくさん並んでいるので、ぜひ見に来てもらって、私たちの施設についても知ってもらえたら」と話した。

(小川祥)

北陸
中日新聞

中日新聞北陸本社
金沢市駅西本町2丁目12番30号
〒920-8573 電話 076(261)3111